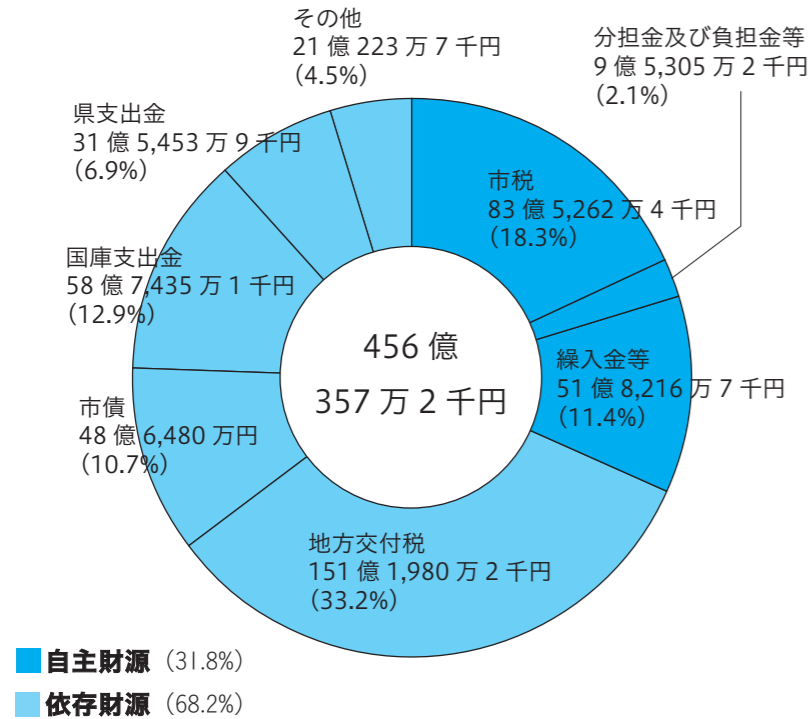


一般会計

令和元年度の一般会計決算は、歳入総額が456億357万2千円、歳出総額が436億7,319万7千円となりました。歳入から歳出を差し引いた額は19億3,037万5千円で、そこから令和2年度に行う事業に充てる繰越金2億2,899万2千円を差し引いた実質収支は17億138万3千円の黒字となりました。

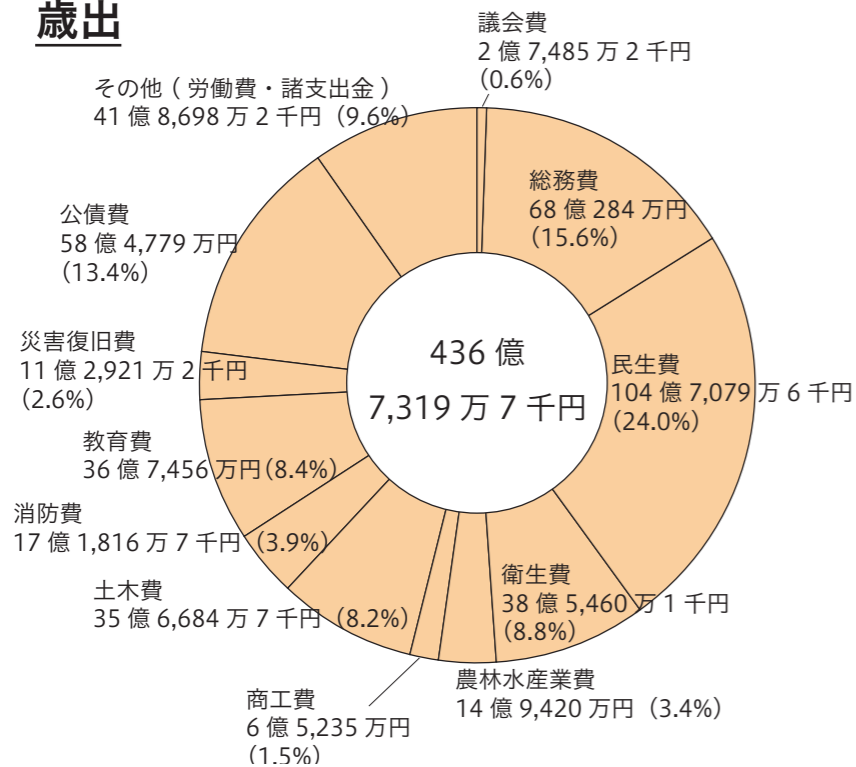
歳入



財政用語の解説(歳入)

- ◇ **自主財源** 市町村が自主的に収入することができるお金
- ◇ **依存財源** 国や県から交付又は割り当てられるお金等
- ◇ **市税** 住民の福祉向上のために行う事業経費を賄うため、皆さんから納めていただく税金
- ◇ **分担金及び負担金等** 保育所や老人ホーム等を利用する方に負担してもらったお金等
- ◇ **繰入金等** 会計間相互の資金
- ◇ **地方交付税** 行政サービスを保証するために、所得税・消費税等の国税から一定割合で市町村に交付されるお金
- ◇ **市債** 学校建築など一時的にたくさんのお金が必要な事業を実施するときの借り入れするお金
- ◇ **国庫支出金・県支出金** 学校建築、児童手当などに対して一定の率で国・県から交付されるお金

歳出



財政用語の解説(歳出)

- ◇ **議会費** 議会の運営
- ◇ **総務費** 全般的な管理事務、広報、防災対策、行政局、地籍調査、徴税、選挙等
- ◇ **民生費** 高齢者・児童・体の不自由な方等の福祉向上
- ◇ **衛生費** 健康診断等の保健事業、ごみ・し尿処理等の環境衛生
- ◇ **農林水産業費** 農業・林業・水産業の振興
- ◇ **商工費** 商工業・観光の振興、共同作業所・自然公園の管理等
- ◇ **土木費** 道路、河川、公園、住宅等の整備・管理
- ◇ **消防費** 消防施設整備、消火・救急業務の費用
- ◇ **教育費** 小・中学校、幼稚園の整備・運営、社会教育・体育、文化財保護等
- ◇ **災害復旧費** 災害で被害を受けた施設等を復旧
- ◇ **公債費** 国や県、銀行等から借りた元金・利子の返済

※令和元年度決算は、令和2年12月議会において、議決される予定です。



特集 令和元年度決算

決算とは、市民の皆さんに納めていただいた市税や国・県からの補助金など収入がいくら入ってきて、それをどのように使ったのかをまとめたものです。令和元年度決算についてお知らせします。

☎ 財政課 財政係
0739(26)9918



02 目次・特集「令和元年度決算」

08 トップニュース

田辺市文化賞の受賞者が決定しました／新庁舎北側交差点の改良工事について ほか

14 情報ボックス

(公財) 小山育英会奨学生を募集します／年末・年始のごみの自己搬入についてお知らせします ほか

20 相談日程等

22 みんなの広場

26 みんなの彩時記

扇ヶ浜を舞台に二日間のキャンプ場／スポーツの秋様々なスポーツに親しむ ほか



今月の表紙写真

今月の表紙は、今年完成した市街地活性化施設 tanabe en+ で行われたマルシェでの一枚です。皆さん笑顔で en ポーズをしてくださいました。

紙面で使用するマーク等の説明

☎…日付・期間	☎…定員
🕒…時間	💰…料金・費用
🏠…休館日	👜…持ち物
📍…場所	📄…申込み・申請方法
👥…集合	🗨️…問合せ
📄…内容	[消印]…消印有効
👤…対象・参加資格等	[先着]…先着順

◇☎マークには、振替休日等も含まれます。
◇料金や申込み方法の記載のないものは、不要です。
◇市役所の開庁時間(申込み・問合せ等の受付を含む。)は、☎を除く🕒～🕒の8時30分～17時15分です。毎週🕒は、市民課・保険課・税務課の一部窓口を19時まで延長しています。
※今年度の年末年始の開庁は、一部の業務を除き12月29日🕒～1月3日🕒です。

主な事業

令和元年度は、「平成」から新たな元号「令和」に変わる、新たな時代の始まりの年でした。人と地域が輝き、未来へつながる大きな一歩を踏み出す年として、各種事業を実施しました。

■総務費

- シティプロモーション事業・・・・・・・・・・1,270万3千円
- 防災行政無線デジタル化事業・・・・・・・・・・3億1,079万7千円
- ケーブルテレビ機器更新事業・・・・・・・・・・1億8,583万9千円
- 庁舎整備事業・・・・・・・・・・2億3,899万9千円

■民生費

- 保育所運営事業・・・・・・・・・・9億6,280万4千円
- 障害者福祉事業・・・・・・・・・・31億6,883万1千円
- ねんりんピック紀の国わかやま 2019
田辺市実行委員会補助金・・・・・・・・・・2,142万3千円
- 生活保護費給付・・・・・・・・・・14億7,704万9千円

■衛生費

- 公立紀南病院組合負担金・・・・・・・・・・10億7,332万1千円
- 予防事業（予防接種事業等）・・・・・・・・・・2億5,598万4千円
- 斎場建設事業・・・・・・・・・・3億732万3千円
- 紀南環境広域施設組合負担金
（広域廃棄物最終処分場整備）・・・・・・・・・・4億4,412万9千円

■農林水産業費

- 中山間地域等直接支払交付金・・・・・・・・・・3億25万4千円
- 田辺射撃場整備事業費補助金・・・・・・・・・・4,479万3千円
- 林道新設改良事業・・・・・・・・・・1億6,989万2千円
- 漁港管理事業・・・・・・・・・・543万3千円

■商工費

- ふるさと寄付金返礼品事業・・・・・・・・・・2,667万4千円
- 観光施設整備事業（ごまさんスカイタワー給水設備ほか）・・・・5,389万6千円
- 田辺観光戦略推進事業・・・・・・・・・・3,560万円

■土木費

- 道路新設改良事業・・・・・・・・・・5億984万4千円
- 都市計画道路整備プログラム作成事業・・・・・・・・・・2,445万2千円
- 景観まちづくり刷新事業・・・・・・・・・・6億5,521万5千円
- 扇ヶ浜公園整備事業（武道館建設）・・・・・・・・・・7億8,483万円

■消防費

- 消防水利施設整備事業（防火水槽）・・・・・・・・・・2,645万7千円
- 消防団用車両購入（消防ポンプ自動車ほか）・・・・・・・・・・3,101万5千円
- 消防団車庫建築事業（近野分団・栗栖川分団）・・・・・・・・・・6,483万円

■教育費

- 小中学校空調設備整備事業・・・・・・・・・・2億2,915万3千円
- 大坊小学校・三里小学校建築事業・・・・・・・・・・6,299万5千円
- 公民館耐震改修事業
（中辺路コミュニティセンター・大塔総合文化会館）・・・・1億2,487万3千円
- 田辺スポーツパーク管理運営事業・・・・・・・・・・9,035万4千円

■災害復旧費

- 農林施設災害復旧費・・・・・・・・・・4億3,111万1千円
- 公共土木施設災害復旧費・・・・・・・・・・6億2,327万9千円

寄附金

令和元年度にいただいたふるさと田辺応援寄附金等の寄附金は、8,845万円で、各種事業の財源として活用しました。

区分	寄附金額
ふるさと田辺応援寄附金	8,051万2千円
その他寄附金	793万8千円
合計	8,845万円



ねんりんピック



新斎場



新武道館



消防団車庫（栗栖川分団）

特別会計

特別会計は、一般会計とは別に、特定の目的のために設けている会計です。

令和元年度の各特別会計決算は下表のとおりですが、実質収支額に不足が生じた特別会計については、地方自治法に基づき、出納整理期間中（令和2年5月31日まで）に、令和2年度の歳入を繰り上げて令和元年度の歳入に充用しています。

会計名		歳入	歳出	実質収支額
国民健康保険事業	事業勘定	100億3,569万5千円	97億5,860万9千円	2億7,708万6千円
	直営診療施設勘定	2,249万8千円	2,190万6千円	59万2千円
	小計	100億5,819万3千円	97億8,051万5千円	2億7,767万8千円
後期高齢者医療		19億3,290万9千円	19億2,788万8千円	502万1千円
介護保険		91億7,933万3千円	90億3,109万4千円	1億4,823万9千円
分譲宅地造成事業		8,844万2千円	4万8千円	8,839万4千円
同和対策住宅資金等貸付事業		1,089万1千円	4億9,345万1千円	△4億8,256万円
農業集落排水事業		3億7,918万8千円	3億7,825万円	93万8千円
林業集落排水事業		1,190万4千円	1,135万5千円	54万9千円
漁業集落排水事業		7,108万4千円	7,041万8千円	66万6千円
特定環境保全公共下水道事業		5,839万9千円	5,775万円	64万9千円
戸別排水処理事業		616万5千円	561万6千円	54万9千円
診療所事業		3億550万7千円	3億504万6千円	46万1千円
駐車場事業		4,760万9千円	3億4,956万円	△3億195万1千円
木材加工事業		2億1,916万8千円	2億1,294万4千円	622万4千円
四村川財産区		4,958万5千円	3,953万1千円	1,005万4千円

基金残高

基金は、自治体の貯金にあたるものです。

市では、年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金や市債償還の財源に充てるための減債基金など31の基金を設けています。

令和元年度末現在高は前年度に比べ955万9千円増の241億298万8千円となっています。

基金名	令和元年度末残高
財政調整基金	35億6,451万円
減債基金	93億3,565万1千円
その他特定目的基金	102億2,702万円
一般会計計	231億2,718万1千円
特別会計	9億7,580万7千円
合計	241億298万8千円

市債残高

市債は、道路整備などの事業実施にあたり借り入れるお金です。

令和元年度末残高は前年度に比べ9億1,562万8千円減の518億7,776万7千円となっており、このうち386億8,370万1千円(74.6%)は、後年度に国から普通交付税として交付されます。

会計名	令和元年度末残高
一般会計	494億7,947万7千円
特別会計	23億9,829万円
合計	518億7,776万7千円

財政健全化判断比率・資金不足比率

財政健全化判断比率は、地方公共団体の財政の健全性を表す指標で、資金不足比率は、水道事業や下水道事業など、公営企業会計の経営の健全性を表す指標です。

財政健全化判断比率が早期健全化基準以上の場合には「財政健全化計画」を、資金不足比率が経営健全化基準以上の場合には「経営健全化計画」を策定し、健全化に取り組むことになります。

令和元年度決算により算出した比率については、前年度に引き続き基準を超えるものではありませんでした。

区分		令和元年度比率	健全化の基準
財政健全化判断比率	■実質赤字比率 一般会計等（普通会計）に赤字がどれくらいあるかを表す指標。	－ (赤字なし)	12.19% (早期健全化基準)
	■連結実質赤字比率 特別会計や公営企業会計等を含めた全ての会計で赤字がどれくらいあるかを表す指標。	－ (赤字なし)	17.19% (早期健全化基準)
	■実質公債費比率 公債費（借入金の返済額）や公営企業の公債費に充てるための繰出金など、実質的な公債費相当額がどれくらいあるかを表す指標。	8.7%	25.0% (早期健全化基準)
	■将来負担比率 市債残高や契約等によって今後負担しなければならないものなど、将来負担すべき実質的な負債がどれくらいあるかを表す指標。	－ (算出なし)	350.0% (早期健全化基準)
資金不足比率	公営企業会計単位で、資金不足額がどれくらいあるかを表す指標。対象の会計は以下のとおりです。 ①水道事業会計 ②農業集落排水事業特別会計 ③林業集落排水事業特別会計 ④漁業集落排水事業特別会計 ⑤特定環境保全公共下水道事業特別会計 ⑥戸別排水処理事業特別会計 ⑦分譲宅地造成事業特別会計	－ (全ての会計で資金不足なし)	20.0% (経営健全化基準)

地方消費税交付金（社会保障財源化分）の用途状況

消費税率の5%から10%への引上げ分の地方消費税収（地方消費税交付金を含む。）については、社会保障施策（社会福祉、社会保険及び保健衛生）に要する経費に充てるとされています。

令和元年度決算における地方消費税交付金(社会保障財源化分)の用途状況については、次のとおりです。

■歳入 地方消費税交付金（うち社会保障財源化分）……5億3,195万2千円

区分	事業費	財源		
		特定財源	一般財源	
			地方消費税交付金の社会保障財源分	その他
社会福祉	94億9,792万1千円	55億3,907万3千円	2億5,307万5千円	37億577万3千円
主な事業	生活保護扶助費、障害者福祉扶助費、施設型給付費負担金（保育所等運営費負担金）			
社会保険	35億6,464万1千円	6億3,152万5千円	1億8,750万4千円	27億4,561万2千円
主な事業	国民健康保険事業特別会計繰出金、介護保険特別会計繰出金、後期高齢者医療特別会計繰出金			
保健衛生	14億4,902万7千円	1,968万円	9,137万3千円	13億3,797万4千円
主な事業	予防接種事業、妊婦健診事業、がん検診事業			

※地方消費税交付金（社会保障財源分）は、各事業に要する一般財源の比率に応じて按分し充当しています。

目的税の用途状況

租税の中で、一定の政策目的を達成するために用途を限定して課税されるものを目的税と言い、本市では、都市計画税と入湯税があります。これらの令和元年度決算における用途状況については、次のとおりです。

■歳入 都市計画税収入額……3億4,376万1千円

区分	事業費	充当額	主な事業
都市計画事業	7億8,483万円	2,279万4千円	扇ヶ浜公園整備事業
地方債償還額	5億6,170万9千円	3億2,096万7千円	都市計画事業等で借り入れた市債の償還

■歳入 入湯税収入額……5,343万7千円

区分	事業費	充当額	主な事業
環境衛生施設の整備	1億849万9千円	3,318万2千円	合併処理浄化槽設置補助
消防施設等の整備	1億2,230万2千円	76万7千円	防火水槽及び消防用車両の購入ほか消防施設整備事業
観光振興	4,908万1千円	1,948万8千円	観光協会補助金、弁慶まつり補助金ほか観光振興対策

森林環境譲与税の用途状況

森林の有する公益的機能の維持・発揮を図るための森林の整備及びその促進に関する施策の財源として、市町村及び都道府県に対して森林環境譲与税が譲与されています。

令和元年度決算における森林環境譲与税の用途状況については、次のとおりです。

■歳入 森林環境譲与税額……1億571万4千円

事業名	事業費	一般財源	
		森林環境譲与税充当額	その他
経営管理意向調査準備事業	1,008万7千円	1,008万7千円	0円
森林環境譲与税活用事業の検討	91万1千円	91万1千円	0円

※歳入と充当額の差額9,471万6千円は、後年度の森林整備等の財源として、森林環境譲与税活用基金へ積み立てています。

ウイズコロナ時代に対応した効率的・効果的な財政運営を
令和元年度決算では、実質的な公債費（借入金の返済額相当額）がどれくらいあるかを示した実質公債費比率は8.7%（前年度比+0.6ポイント）、財政の弾力性を示した経常収支比率は97.8%（前年度比+1.7ポイント）となり、共に平成30年度決算に比べ上昇しましたが、財政健全化判断比率・資金不足比率共に健全化基準を超えるものはなく、財政運営の健全性は維持できています。今後、社会保障費や多額の公債費負担に加え、防災・減災対策や道路・橋梁等の公共インフラの老朽化対策など多くの財政需要が見込まれるとともに、ウイズコロナ時代に対応した取組も求められています。

普通交付税の市町村合併による特例措置が令和2年度に終了し、今後、財源の減少が見込まれますが、引き続き徹底した経費の節減・合理化に努め、効率的・効果的な財政運営に努めます。